

START-UP! VOL.018 TAKE FREE

BSTJ

BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL



START-UP! STORY

メディカルフォトニクス 株式会社

「飯永 一也さんの創業物語」

サラリーマンから研究者、そして創業へ。

社会に必要とされる「血液濁度計」の開発・販売に挑戦する、

「メディカルフォトニクス株式会社」飯永一也さんの創業物語。

飯永さんの創業キーワード

Start-up! Keyword

素人発想の、
玄人実行。

ひとつの創業には、
たくさんの物語がある。



Start up-Business
創業・経営支援チーム
Support Team

START-UP Question?



事業内容の紹介 MEDICAL PHOTONICS Data

採血不要の血液検査で健康管理をサポート。
医療機器・ヘルスケア機器の技術開発を手がけるベンチャー企業。

年齢性別を問わず気になるのが「脂質」。できれば避けて通りたい存在ではありますが、人間の体に必要な三大栄養素の1つであり、体内の様々な情報を読み解くことができる重要な物質もあります。

その脂質に注目し、採血をしなくても血中の脂質を測定できる技術・装置の開発に取り組んでいるのは、飯永一也さんが代表取締役を務める「メディカルフォトニクス株式会社」です。

2015年の創業以来、光を使って測定する技術を応用し、肌に近赤外線を当てるだけで血中脂質を瞬時に計測する「採血不要の血液濁度計」を開発。カタチになるまで、3年もの時間を費やしたといいます。

「現在はこの技術をPRするため、健康診断などを行う自治体や企業に血液濁度計を貸し出し、意見や要望を聞きながらブラッシュアップ中です。年内には改良を終えた次世代機をお届けできるよう、がんばっています」。

腕にのせるだけで瞬時に血中脂質を測定。今後は小型化を目指し、家庭での計測も。日々の健康管理に貢献していきたい。

前職は、診断薬を開発する製薬メーカーのサラリーマンだった飯永さん。食後の中性脂肪値が高い状態が続く「食後高脂血症」は、「心筋梗塞や動脈硬化といった大きな疾患を招く危険性があり、今後ますます重要視される疾患になる」と考えていました。ですが、この疾患は何度も血液検査を行わなければならず、心身のダメージも大きい。飯永さんは「採血をしない検査方法が何かあれば、早期発見や予防につながるのに…」と、思いを巡らせていました。

そんな時に出会ったのが、北海道大学 清水教授が長年研究している光を使って生体内の物質を分析する理論と技術。「これを応用すると脂質を測ることができるかもしれない」と、ひらめきました。その後、開発に踏み切るために思い切って会社を辞め、北海道大学の研究員を経て、創業に至りました。

会社設立2年目には「北大発認定ベンチャー企業」第一号に選ばれ、注目を集めましたが、新しく画期的な技術だけに、「当初は肩唾の技術なんじゃないかとまで言われ、誰も信用してくれない大変な時期がありました」。それでも、「自分のアイデアを自分の手で世に出していく」という強い意志の下、飯永さんは採血不要の血液濁度計

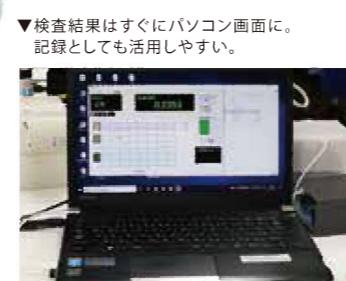
の価値や将来性について説明を続けることで、徐々に評価が変わり、認知されてきたといいます。

3代目となる現行機は、やや高額なため、レンタルが主体。最近では測定方法や血中脂質への関心が広がり、健康イベントから声がかかるようになりました。

飯永さんが次に見据えているのは、血液濁度計の精度をさらに上げ、販売する段階へ。小型化も視野に入れています。血圧計のように家庭で常備しやすいサイズや価格になると、健康管理の在り方が大きく変わりそうです。人生100年時代、同社の開発技術にますます期待が高まります。



▲採血不要の血液濁度計の最新機。



創業の動機や経緯について

重大な疾患を防ぐ手助けを。
採血不要の血液検査技術という
アイデアをカタチにしたい。

「脂質の検査について広く知ってもらいたい」と話す、飯永さん。血中脂質が高いと重大な疾患につながる可能性があるからです。ただ、一般的な健康診断では発見が難しく、何度も採血すると心身の負担になるため、採血せずに測れる検査方法を模索していた時、「光を使って物質を計測する技術」を応用するというアイデアが浮かびました。「自分のアイデアを自分の力で開発したいと思い、会社を立ち上げました」。



第2世代試作機

▲試作の連続。機器の信頼が、会社の信頼につながる。

創業時の苦労・悩み・解決方法について

迷ったときこそ、初心に立ち返る。
ビジョンを訴求できるシナリオで、
取捨選択の判断材料にする。

会社の知名度や開発技術の認知度を上げるために、ビジネスプランコンテストなどに積極的に参加したという飯永さん。「すると、様々な業態の方からお話を助言をいただくようになりましたが、話を聞きすぎると迷いが出る。自分の軸をurasu、話を取捨選択ができるようになるまで苦労しました。プレることは誰でもあると思いますが、そんな時、自分が何をやりたいのかという初心や、会社のビジョンを思い返すことが大事ではないでしょうか」。



▲光で測定するセンサー画面。安定はしてきたが精度を求めて開発は続く。

経営において心がけていること

生の声が付加価値を生む種に。
ヒアリングは自ら出向き、
スタッフ任せにしないこと。

採血不要の血液濁度計を広く知ってもらうため、試用を依頼した先から意見や要望を収集し、改良に努めているという飯永さん。「ハードウェアは簡単に変えられませんが、見やすさなど使い勝手の部分で、現場の声を生かすことが大切だと思っています。スタッフが話を聞いてまとめたレポートより、やはり実際に会って話を聞くことで、イメージが広がり、工夫すべき点が見えてくるので、今は外回りの仕事が多くなります」。



▲少数精鋭の社員と共に検証と開発の日々。

START-UP! Advice!



自分が行けると
思ったことなら
信じてブれない。

by 飯永一也さん

リスクをとってでもやりたいことなのか、準備段階からしっかり考えることが大事だと思います。それでもやりたい時は、自分で責任を持ち、率先して動く。得意分野だけやるのではなく、自分主体だと意識していないと、悪い意味で他力本願になってしまふ。「素人発想の、玄人実行」とでも言いますか、自分が行けると思ったことなら信じてブれない。あとは行動で結果を出し、証明して人を巻き込んでいくという繰り返しが思います。

Start-up! Keyword

素人発想の、
玄人実行。



メディカルフォトニクス株式会社

代表取締役CEO 飯永 一也

住 所

(本社)
札幌市北区北21条西12丁目 コラボ北海道Dルーム
(技術開発センター)
札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10
札幌市エレクトロニクスセンター203号

TEL&FAX
HP
E-mail

011-700-0202
<https://med-photo.co.jp/>
iinaga@med-photo.co.jp



NEWS

北海道信用保証協会からのお知らせ



「オーエンチャンネル」VOL.14が完成しました!

北海道で活躍されている創業者をご紹介する動画コンテンツ
「オーエンチャンネル」のVOL.14が完成しました！
今回は本誌にも掲載している「メディカルフォトニクス株式会社」
の飯永一也さんの創業物語です。
本誌と併せて、オーエンチャンネルでも創業者をご紹介してまいりますので、ぜひご覧ください！



北海道信用保証協会 オーエンチャンネル

検索

オーエンチャンネル



創業者向けセレクトセミナーを開催しました！

令和元年8月27日(火)を第1回目に、創業に役立つ4つのテーマについて参加者が興味あるものだけを選択したうえで受講できる「創業者向けセレクトセミナー」を開催し、多くの方々にご参加いただきました。
参加者の皆さまには熱心にご参加いただき、この場を借りてお礼申し上げます。

なお、今後も創業に役立つセミナーを開催する予定にあります。
詳細が決定しましたら、当協会のホームページやフェイスブックページで告知させていただきますので、ご興味ある方はぜひご参加ください。



◆セミナー詳細

日程・テーマ・講師名

- (1) 令和元年8月27日(火) 18:30 ~ 20:30 「想いをカタチにしてみよう！創業に向けた事業計画策定」
小西 麻衣 中小企業診断士
- (2) 令和元年9月3日(火) 18:30 ~ 20:30 「伝授します！確定申告のポイント～最初に理解すべきキホン～」
小島 史資 公認会計士・税理士
- (3) 令和元年9月10日(火) 18:30 ~ 20:30 「お客さま満足につなげる！クレーム対応の基本と秘訣」
後藤 真澄 人材育成コンサルタント
- (4) 令和元年9月17日(火) 18:30 ~ 20:30 「初心者向けWEBマーケティングの基本」
森田 康之 中小企業診断士

START-UP! BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL VOL.018

発行
人

北海道信用保証協会 業務部 企業支援課
札幌市中央区大通西14丁目1 TEL. 011-241-5605
<http://www.cgc-hokkaido.or.jp/>



facebook

北海道信用保証協会
創業・経営支援チーム



2019.9